

眠れる美女 (1968)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 96分
初公開日 1968/01/31
公開情報 松竹

【解説】

毎日出版文化賞を受賞した川端康成の同名小説を、新藤兼人が脚色し吉村公三郎が監督した。原作『眠れる美女』は1995年と2005年(ドイツ映画)に再映画化されている。

友人の福良と木賀に教えられ、老作家の江口は“眠れる美女の家”を訪れた。そこでは美少女が一糸まともな姿勢で深く眠っており、老人たちはその傍らで一晩を過ごすのだ。江口は眠り続ける裸の少女の前に、自分の過去を思い出していた。初恋の少女と無理に引き離されたこと、別の男と結婚した少女が自殺したこと、人妻と不倫をしたこと。やがて“眠れる美女の家”で、福良と木賀が相次いで死亡した。家に訪れた江口はそこで、少女の胸に残された爪痕を見て慄然とする。それは老人たちによる断末魔のあがきだった。

【クレジット】

監督 吉村公三郎
製作 糸屋寿雄
高島道吉
原作 川端康成
脚本 新藤兼人
撮影 佐藤昌道
美術 薩本尚武
音楽 池野成
出演 田村高広
香山美子
殿山泰司
中原早苗
松岡きっこ
山岡久乃
八木昌子
北沢彪